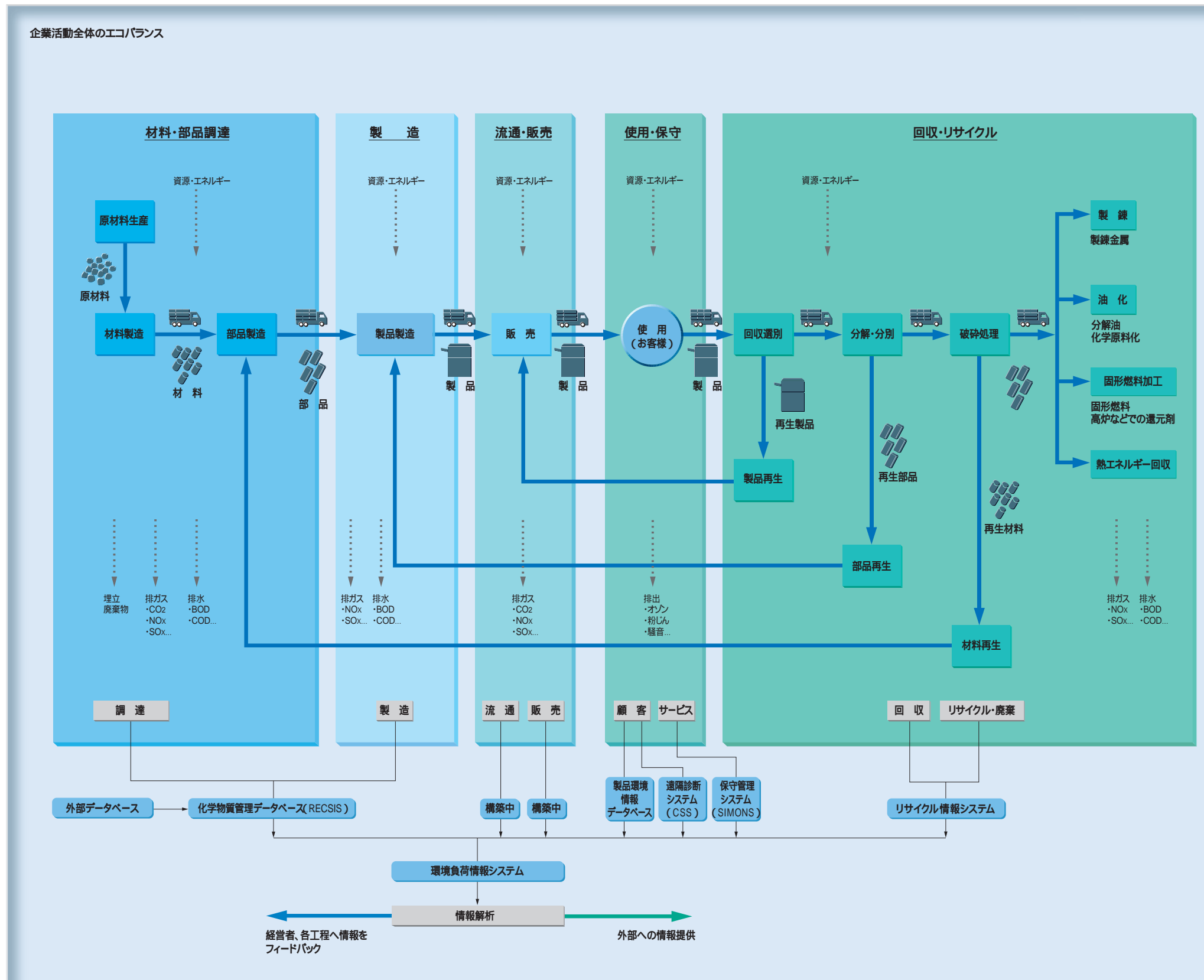


エコバランスの導入

エコバランスの考え方

リコーグループは、コメントサークルの考え方に
基づき、企業活動のそれぞれの工程で発生する
環境負荷を把握したうえで、負荷の総量を低
減する活動を行っています。エコバランスとは、
「企業が発生させる環境負荷を定量的に測定・
把握・報告する手段として、環境負荷のInput /
Outputデータの一覧表を作成すること、または
一覧表そのもの」を意味し、この手法の導入は、
企業活動全体のLCA*の実施を容易にします。
LCAを実施することにより、総合的な環境負荷
の把握(全部でどれくらいか)改善箇所の特定
(どこが悪いのか)定量的な改善効果(どれく
らい改善されたのか)を把握し、効果の高い環境
改善施策を展開していくことができます。リコー
グループは企業活動全体の環境負荷情報シス
テムを構築し、環境負荷の低減をはかるとともに、
その情報の開示も行っています。また、リコーでは、
部品調達から製造・使用・回収・リサイクルまで、
製品のライフサイクル全体で発生する環境負荷
を定量的に捉え、第三者の認証のもとで公表する
「タイプIII環境ラベル」の実施を進めています。

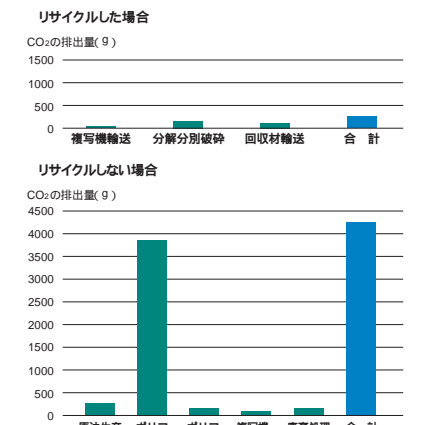
*LCA(Life Cycle Assessment)とは、製品の「ゆりかごから墓場まで」、
つまり原材料を製造するための資源採集から、製造・加工・流通・販売・
消費・使用・リサイクル・廃棄に至るまでの間に、どのような環境負荷が、
どの程度あるのかを定量的に把握する方法。



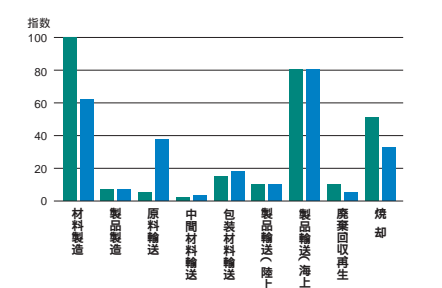
LCA研究事例

プラスチックのマテリアルリサイクルやエコ
包装の開発など、リコーグループでは環境
負荷低減のために、さまざまな施策をいち
はやく実行してきましたが、同時に、その施策
がどれくらい効果をおいているのかを把握
するためにLCAを実施しています。

複写機外装材用樹脂のマテリアルリサイクルにおけるLCA
エコバランス国際会議(1998年11月)で発表



緩衝材のLCA(CO₂の工程別排出量)
RECY'94(1994年10月)で発表



コピー用紙のLCA(1t当たりのCO₂排出量)
電子写真学会/Japan Hard Copy 97 Fall(1997年11月)で発表

